

【 パソコンのおさらい：今さら聞けないパソコンの基本 】

「Alt（オルト）」キーとは



「Alt」は「Alternate（オルタネート）」の略で「交互に」といった意味があり、このキーだけを押すと、その都度、アプリケーションの表示状態が「交互に」切り替わります。たとえば Internet Explorer で「Alt」キーを押すと、メニューバーが一時表示され、直後に再度押すと表示が消えます。

また、「Alt（オルト）」キーと、主に他のキーと組み合わせることで様々な機能を実行できる「ショートカットキー」に使用されます。

主な『Alt キーとの組み合わせ操作のショートカットキー』

- Alt+A ツールバーのホームページのお気に入りを開く
- Alt+C コピーまたは、お気に入りの新しいフォルダの作成
- Alt+D ツールバーアドレス入力の操作をする
- Alt+E ツールバーの編集を開く
- Alt+F ツールバーのファイルを開く
- Alt+H ツールバーのヘルプを開く
- Alt+T ツールバーツールを開く
- Alt+V ツールバーの表示を開く、または貼り付け(ペースト)をする
- Alt+X 切り取りをする
- Alt+Enter ファイルやフォルダのプロパティを開く
- Alt+スペースキー 現在のウィンドウのコントロールメニューの表示
- Alt+Tab アプリケーションを切り替える
- Alt+Esc 次のウィンドウを表示する
- Alt+半角/全角 文字入力の切り替えをする
- Alt+ひらがな ローマ字入力やかな入力の切り替えをする